タイトル		内容
授業科目	ITキャリアデザインIV	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	 志望業界の時事について情報収集をお	こない自身の考えをまとめる
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	時事に対する興味関心を持ち、自身の	
教科書	オリジナルテキスト	The arrange of the ar
実務家教員の紹介		
	1 IT業界時事テーマの決定 1	31 企業研究
	2 情報収集	32 企業別志望動機作成
	3 情報収集	33 面接試験における質問研究
	4 ディスカッション	34 面接トレーニング
	5 ディスカッション	35 SPI対策
	6 まとめレポート作成	36 CAB対策
	7 SPI対策	37 企業研究
	8 SPI対策	38 企業別志望動機作成
	9 CAB対策	39 面接試験における質問研究
	10 CAB対策	40 面接トレーニング
	 11 IT業界時事テーマの決定 2	41 SPI対策
	12 情報収集	42 CAB対策
	13 情報収集	43 企業研究
	14 ディスカッション	44 企業別志望動機作成
	15 ディスカッション	45 面接試験における質問研究
授業計画	16 まとめレポート作成	46 面接トレーニング
	17 SPI対策	47 SPI対策
	18 SPI対策	48 CAB対策
	19 CAB対策	49 企業研究
	20 CAB対策	50 企業別志望動機作成
	20 CABA	50 正栄が心室勤機に及
	22 情報収集	52 面接トレーニング
	23 情報収集	53 SPI対策
	24 ディスカッション	54 CAB対策
	25 ディスカッション	55 企業研究
	26 まとめレポート作成	56 企業別志望動機作成
	27 SPI対策	57 面接試験における質問研究
	27 SPI对策 28 SPI对策	57 国接試験におりる負向研究 58 SPI対策
	29 CAB対策	59 CAB対策
	30 CAB対策	60 効果測定
成槓評個万法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(模擬面接)の得点で評価	
()	+	
備考		

タイトル		内容	
授業科目	ITキャリアデザインV		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT1年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期・後期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	社会人に必要なビジネスマナーについて	 学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	ビジネスマナーについて理解し、状況別		
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介			
	1 学校と職場の違い	31	
	2 職場のマナー	32	
	3 仕事の進め方	33	
	4 「ほう・れん・そう」とは	34	
	5 挨拶の種類	35	
	6 笑顔・お辞儀	36	
	7 正しい敬語の使い方	37	
	8 応対の基本	38	
	9 電話応対のマナー	39	
	10 電話の受け方	40	
	11 電話のかけ方	41	
	12 状況別の電話応対	42	
	13 状況別の電話応対	43	
	14 総合演習	44	
授業計画	15 効果測定	45	
1又未計 四	16	46	
	17	47	
	18	48	
	19	49	
	20	50	
	21	51	
	22	52	
	23	53	
	24	54	
	25	55	
	26	56	
	27	57	
	28	58	
	29	59	
- D. 6幸 立立 1mm - L. N. 1.	30	60	
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(電話応対)の得点で評価		
(試験実施方法)			
備考			

タイトル	Į.	内容	
授業科目	サーバレスコンピューティング		
実務家教員授業)		
学部・学科	情報IT1年制学科		
	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
	実習		
授業時間	120単位時間		
授業コマ数	120十回 N		
授業概要	サーバレスコンピューティングに関する基礎を学	芝 だ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	1 %-	
達成目標	サーバレスサービスを利用したシステム開発を習	翌得する	
教科書	AWS Lambda実践ガイド 第2版		
7人(1) 目	TWO Eamoua大阪の中 1 列2/版		
実務家教員の紹介			
	1 Lambda で実現するサーバレスシステム	31 デプロイとイベントソースの設定	
	2 管理の手間を軽減しコスト削減を実現する Lambda		
	3 イベントドリブンの糊付けプログラミング	33 外部のライブラリを利用する	
	4 Lambda 事始め	34 SAM を使って Lambda 関数のトリガーを設定する	
	5 Lambda を使う上で理解したいこと	35 API Gateway、DynamoDB、SES との連携	
	6 本章で作るシンプルな Lambda 関数	36 API Gateway イベントの事例	
	7 Lambda 関数の構造と設計	37 API Gateway と Lambda 関数を組み合わせる	
	8 Lambda の利用に必要なアクセス権	38 API Gateway と Lambda 関数を作る	
	9 Lambda 関数の作成・登録	39 API Gateway を呼び出す HTML フォームを作って S3 に配置する	
	10 Lambda 関数のテスト	40 DynamoDB の基本	
	11 Lambda の実行環境とイベント	41 Lambda 関数で DynamoDB にアクセスする	
	12 Lambda 関数の実行環境とランタイム	42 署名付き URL を発行する	
	13 Lambda ランタイム環境の再利用	43 メールの送信	
	14 同時実行とプロビジョニング	44 カスタムドメインの導入	
14 VIV = 1	15 イベントモデル	45 SAM を使った開発	
授業計画	16 Lambda 関数を呼び出すイベントソース	46 SQS やSNS を使った連携	
	17 定期的に Lambda 関数を実行する例	47 SQS と SNS トピックのイベント事例	
	18 バージョニングとエイリアス	48 DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理	
	19 Lambda のネットワーク	49 S3 バケットと SQS を構成する	
	20 Lambda の開発環境と SAM	50 SQS からメッセージを取り出してメールを送信する	
	21 Lambda 開発の流れ	51 バウンスメールを処理する	
	22 Serverless Application Model	52 SAM で構成する	
	23 Cloud9 を使った Lambda 開発	53 X-Ray を使った分析	
	24 Cloud9 を使った SAM 開発の実例	54 総合演習	
	25 ローカル環境における Lambda 関数の呼び出し	55 総合演習	
	26 83 のイベント処理	56 総合演習	
	27 83 イベントの事例	57 総合演習	
	28 S3 バケットの作成とアクセス権の設定	58 総合演習	
	29 SAM プロジェクトを作る	59 総合演習	
	30 83 バケットに対するイベント	60 効果測定	
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
(試験実施方法)	刈木 側足100 70	<u>ш</u>	
備考			
	L		

タイトル		内容
	先端クラウドシステム開発 II	
実務家教員授業	20-11112 2 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1	
学部・学科	情報IT1年制学科	
	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Firebaseの基本機能を理解してサーバレスアプ	リケーションの構築方法を学ぶ
	テキストによる講義と実習	
達成目標	Firebaseを利用したサーバレスアプリケーショ	ンを開発する
 教科書	サーバーレス開発プラットフォーム Firebase入	門
実務家教員の紹介		
	1 Firebaseコンソール	31 Hostingの利用(2)
	2 プロジェクトでのFirebaseの利用	32 Cloud Functionsの利用(1)
	3 Authenticationの設定	33 Cloud Functionsの利用(2)
	4 WebアプリでのAuthenticationの利用(1)	34 Cloud Functionsを外部から利用する(1)
	5 WebアプリでのAuthenticationの利用(2)	35 Cloud Functionsを外部から利用する(2)
	6 AndroidにおけるAuthnticationの利用(1)	36 総合演習
	7 AndroidにおけるAuthnticationの利用(2)	37 総合演習
	8 iOSにおけるAuthenticationの利用	38 総合演習
	9 Realtime Databaseの設定(1)	39 総合演習
	10 Realtime Databaseの設定(2)	40 総合演習
	11 WebからのRealtime Databaseの利用(1)	41 総合演習
	12 WebからのRealtime Databaseの利用(2)	42 総合演習
	13 AndroidでのRealtime Database利用(1)	43 総合演習
	14 AndroidでのRealtime Database利用(2)	44 総合演習
授業計画	15 iOSにおけるRealtime Databaseの利用	45 総合演習
汉未时四	16 Cloud Firestoreの設定(1)	46 総合演習
	17 Cloud Firestoreの設定(2)	47 総合演習
	18 WebからのCloud Firestoreの利用(1)	48 総合演習
	19 WebからのCloud Firestoreの利用(2)	49 総合演習
	20 Cloud FirestoreのAndroidによる利用(1)	50 総合演習
	21 Cloud FirestoreのAndroidによる利用(2)	51 総合演習
	22 Cloud FirestoreのiOSによる利用	52 総合演習
	23 Storageの設定(1)	53 総合演習
	24 Storageの設定(2)	54 総合演習
	25 StorageのWebからの利用(1)	55 総合演習
	26 StorageのWebからの利用(2)	56 総合演習
	27 StorageのAndroidによる利用(1)	総合演習
	28 StorageのAndroidによる利用(2)	58 総合演習
	29 StorageのiOSによる利用	59 総合演習
→ 6+ 六7 Fm → 1. 11.	30 Hostingの利用(1)	60 効果測定
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で認	平価
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	内	容
	ディープラーニング実践	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必1	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Pythonによるディープラーニングの実装について	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	ディープラーニングシステムの実装と各種AIフレ	
教科書	なっとくディープラーニング	
実務家教員の紹介		
	1 ディープラーニング概要・機械学習概要	31 可変長データのためのリカレント層
	2 ニューラル予測 順伝播	32 可変長データのためのリカレント層
	3 ニューラル予測 順伝播	33 可変長データのためのリカレント層
	4 ニューラル予測 順伝播	34 可変長データのためのリカレント層
	5 ニューラル学習 勾配降下法	35 ディープラーニングフレームワークの構築
	6 ニューラル学習 勾配降下法	36 ディープラーニングフレームワークの構築
	7 ニューラル学習 勾配降下法	37 ディープラーニングフレームワークの構築
	8 ニューラル学習 勾配降下法	38 ディープラーニングフレームワークの構築
	9 一度に複数の重みを学習 勾配降下法の汎化	39 LSTM
	10 一度に複数の重みを学習 勾配降下法の汎化	40 LSTM
	11 一度に複数の重みを学習 勾配降下法の汎化	41 LSTM
	12 初めてのディープニューラルネットワークの構築 誤差逆伝播法	42 フェデレーションラーニング
	13 初めてのディープニューラルネットワークの構築 誤差逆伝播法	43 フェデレーションラーニング
	14 初めてのディープニューラルネットワークの構築 誤差逆伝播法	44 フェデレーションラーニング
1 × 111 × 1	15 初めてのディープニューラルネットワークの構築 誤差逆伝播法	45 効果測定
授業計画	16 ニューラルネットワークの描き方	46 総合演習
	17 シグナルを学習しノイズを取り除く 正則化とバッチ	47 総合演習
	18 シグナルを学習しノイズを取り除く 正則化とバッチ	48 総合演習
	19 シグナルを学習しノイズを取り除く 正則化とバッチ	49 総合演習
	20 確率と非線形性のモデル化 活性化関数	50 総合演習
	21 確率と非線形性のモデル化 活性化関数	51 総合演習
	22 確率と非線形性のモデル化 活性化関数	52 総合演習
	23 効果測定	53 総合演習
	24 畳み込みニューラルネットワーク	54 総合演習
	25 畳み込みニューラルネットワーク	55 総合演習
	26 畳み込みニューラルネットワーク	56 総合演習
	27 言語を理解するニューラルネットワーク	57 総合演習
	28 言語を理解するニューラルネットワーク	58 総合演習
	29 言語を理解するニューラルネットワーク	59 総合演習
	30 言語を理解するニューラルネットワーク	60 効果測定
成績評価方法	 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評(
(試験実施方法)	別末側に10070 別末側に(天百課題)の信息で評[щ
備考		
ин У		

タイトル		由宏
授業科目	フロントエンドフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必1	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページア	プリケーションの作成について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアフ	リケーションの作成ができる
教科書	動かして学ぶ!Vue.js開発入門	
実務家教員の紹介		
	1 Vue.jsの概要	31 アニメーションの表示
	2 Vue.jsのインストール	32 アニメーションの表示
	3 データの表示	33 実習
	4 属性の指定	34 Vue.jsでのToDoリスト
	5 実習	35 Vue.jsでのToDoリスト
	6 ユーザの入力	36 実習
	7 ユーザの入力	37 部品にまとめる:コンポーネント
	8 ユーザの入力	38 部品にまとめる:コンポーネント
	9 ユーザの入力	39 部品にまとめる:コンポーネント
	10 実習	40 部品にまとめる:コンポーネント
	11 ユーザの操作	41 実習
	12 ユーザの操作	42 JSONデータの表示
	13 ユーザの操作	43 JSONデータの表示
	14 実習	44 JSONデータの表示
	15 効果測定	45 効果測定
授業計画	16 条件と繰り返し	46
	17 条件と繰り返し	47
	18 条件と繰り返し	48
	19 条件と繰り返し	49
	20 実習	50
	20 人日 21 Google Chartsとの連動	51
	21 Google Charts この定動 22 データの変化の監視	52
	23 データの変化の監視	53
	24 実習	54
	24 大日 25 データの変化の監視	55
	26 データの変化の監視 26 データの変化の監視 27 27 27 27 27 27 27 2	56
	27 実習	57
	27 天百 28 Markdownエディタ	58
	29 総合実習	59
		—
	30 効果測定	60
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

タイトル	, p	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
授業科目		, 11
実務家教員授業		
学部・学科		
	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選必1	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
	コンテナ技術、Dockerについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
	コンテナの概要を理解し、自らコンテナを作成で	
教科書	完全入門 Docker & 仮想サーバー	
7人11 目	九主八丁 Docker G [K/広/)	
実務家教員の紹介		
	1 なぜ開発用サーバーが必要なのか?	31 Spring Bootコンテナを構築する
	2 コンテナとは一体何か?	32 グループ実習 (1)
	3 実習(1)	33 グループ実習 (2)
	4 Dockerを使うための環境を構築する	34 グループ実習 (3)
	5 Docker Desktopの基本的操作	35 グループ実習(4)
	6 Dockerコマンドでコンテナを作成する	36 グループ実習 (5)
	7 Docker Composeで実際にコンテナを作成する	37 グループ実習(6)
	8 Docker Composeファイルの書き方を理解する	38 グループ実習 (7)
	9 MariaDBコンテナを構築する	39 グループ実習 (8)
	10 WordPress + MariaDBコンテナを構築する	40 グループ実習 (9)
	11 コンテナ内のデータを残す方法を理解する	41 グループ実習 (10)
	12 Flaskコンテナを構築する	42 グループ実習 (11)
	13 コンテナのネットワークを理解する	43 グループ実習 (12)
	14 実習 (2)	44 作品発表
1 - NI	15 実習 (3)	45 効果測定
授業計画	16 実習(4)	
	17 実習 (5)	
	18 実習 (6)	
	19 実習 (7)	
	20 効果測定	
	21 Debianコンテナを構築する	
	22 Ubuntuコンテナを構築する	
	23 MariaDB+phpMyAdminコンテナを構築する	
	24 PostgresSQLコンテナを構築する	
	25 PostgresSQL+pgAdmin4コンテナを構築する	
	26 nginxコンテナを構築する	
	27 Djangoコンテナを構築する	
	28 Rubyコンテナを構築する	
	29 Ruby on Railsコンテナを構築する	
	30 PHP+Apache+MariaDBコンテナを構築する	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
備考		

タイトル		内容
	開発総合実習 I	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必1	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発におけるソースコードを完	成させてテストを実践する
授業の進め方	有識者の指導による実習	
達成目標	ソースコードの完成およびテストの実践	
教科書	なし	
	アプリケーション開発者として各種プロ	グラミング言語での開発経験が豊富である。エンジニアと
実務家教員の紹介	しての経験を活かした実習指導をおこな	う。
	1 企画立案	31 プログラミング(開発)
	2 企画立案	32 プログラミング(開発)
	3 企画立案	33 プログラミング(開発)
	4 企画書の作成	34 プログラミング(開発)
	5 企画書の作成	35 プログラミング(開発)
	6 ドメインモデリング分析	36 プログラミング(開発)
	7 ユースケースモデリング分析	37 プログラミング(開発)
	8 ユースケースモデリング分析	38 プログラミング(開発)
	9 ユースケースモデリング分析	39 プログラミング(開発)
	10 要求レビュー	40 プログラミング(開発)
	11 ロバストネス分析	41 テストの実践
	12 ロバストネス分析	42 テストの実践
	13 予備設計レビュー	43 テストの実践
	14 予備設計レビュー	44 テストの実践
	15 シーケンス図作成	45 効果測定
授業計画	16 シーケンス図作成	46
	17 シーケンス図作成	47
	18 シーケンス図作成	48
	19 詳細設計レビュー	49
	20 詳細設計レビュー	50
	21 プログラミング(開発)	51
	22 プログラミング(開発)	52
	23 プログラミング(開発)	53
	24 プログラミング(開発)	54
	25 プログラミング(開発)	55
	26 プログラミング(開発)	56
	27 プログラミング(開発)	57
	28 プログラミング(開発)	58
	29 プログラミング(開発)	59
	30 プログラミング(開発)	60
		I I
(試験実施方法)	課題制作100% 有識者による講評で評価	fi
備考		

タイトル		为容
授業科目	開発総合実習 II	
実務家教員授業	0	
学部・学科	- 情報IT1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選必1	
授業方法	実習	
	150単位時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	システム開発におけるソースコードを完成させて	てテストを実践する
授業の進め方	有識者の指導による実習	
達成目標	ソースコードの完成およびテストの実践	
教科書	なし	
#74## P 0 411 V	アプリケーション開発者として各種プログラミニ	ング言語での開発経験が豊富である。エンジニアと
実務家教員の紹介	しての経験を活かした実習指導をおこなう。	
	1 企画立案 2 企画立案	41 プログラミング(開発) 42 プログラミング(開発)
	2 企画立案 3 企画立案	43 プログラミング(開発)
	4 企画書の作成	44 プログラミング(開発)
	5 企画書の作成 6 ドメインモデリング分析	45 プログラミング(開発)
	6 ドメインモデリング分析 7 ユースケースモデリング分析	46 プログラミング(開発) 47 プログラミング(開発)
	8 ユースケースモデリング分析	48 プログラミング(開発)
	9 ユースケースモデリング分析 西ボルバ	49 プログラミング(開発) 50 プログラミング(開発)
	10 要求レビュー 11 ロバストネス分析	50 フログラミング(開発) 51 プログラミング(開発)
	12 ロバストネス分析	52 プログラミング(開発)
	13 予備設計レビュー	53 プログラミング(開発)
	14予備設計レビュー15シーケンス図作成	54 プログラミング(開発) 55 プログラミング(開発)
	16 シーケンス図作成	56 プログラミング(開発)
	17 シーケンス図作成	57 プログラミング(開発)
	18 シーケンス図作成 19 詳細設計レビュー	58 プログラミング(開発) 59 プログラミング(開発)
授業計画	20 詳細設計レビュー	60 プログラミング(開発)
1人人们 回	21 プログラミング(開発)	61 テストの実践
	22 プログラミング(開発) 23 プログラミング(開発)	62テストの実践63テストの実践
	24 プログラミング(開発)	64 テストの実践
	25 プログラミング(開発)	65 テストの実践
	26 プログラミング(開発) 27 プログラミング(開発)	66テストの実践67テストの実践
	28 プログラミング(開発)	68 テストの実践
	29 プログラミング(開発) 30 プログラミング(開発)	69 テストの実践 70 テストの実践
	31 プログラミング(開発)	70 アストの夫践 71 テストの実践
	32 プログラミング(開発)	72 テストの実践
	33 プログラミング(開発) 34 プログラミング(開発)	73 テストの実践 74 テストの実践
	35 プログラミング(開発)	75 効果測定
	36 プログラミング(開発)	
	37 プログラミング(開発) 38 プログラミング(開発)	
	39 プログラミング(開発)	
	40 プログラミング(開発)	
成績評価方法	 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評	価
(試験実施方法)		
備考		

タイトル	·	为容·	
授業科目	クラウド技術 II	11	
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT1年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	選必2		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	AWSでのアプリケーション開発の基礎を学習する	Z	
授業の進め方	テキストによる講義と実習		
達成目標	AWS SDKを使用し、安全でスケーラブルなクラ	ウトドアプリケーションを闘発する	
教科書	AWS Academyテキスト		
7人/17 日	Tivo readelly / 1 / 1		
実務家教員の紹介			
	1 Academy Cloud Developing へようこそ	31 Amazon API Gateway を使用して開発する (3)	
	2 AWS での開発の紹介 (1)	32 Amazon API Gateway を使用して開発する (4)	
	3 AWS での開発の紹介 (2)	33 Amazon API Gateway を使用して開発する (5)	
	4 AWS での開発の紹介 (3)	34 Amazon API Gateway を使用して開発する (6)	
	5 AWS IAM の紹介(1)	35 AWS Step Functionsを使用して開発する(1)	
	6 AWS IAM の紹介 (2)	36 AWS Step Functionsを使用して開発する(2)	
	7 Amazon S3 を使用して開発する(1)	37 AWS Step Functionsを使用して開発する(3)	
	8 Amazon S3 を使用して開発する (2)	38 AWS で安全なアプリケーションを開発する (1)	
	9 Amazon S3 を使用して開発する(3)	39 AWS で安全なアプリケーションを開発する (2)	
	10 Amazon S3 を使用して開発する(4)	40 AWS でアプリケーションをデプロイする (1)	
	11 Amazon DynamoDB を使用して開発する(1)	41 AWS でアプリケーションをデプロイする (2)	
	12 Amazon DynamoDB を使用して開発する(2)	42 総合演習	
	13 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3)	43 総合演習	
	14 Amazon DynamoDB を使用して開発する(4)	44 総合演習	
	15 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5)	45 効果測定	
授業計画	16 Amazon CloudFront · Amazon ElastiCache (1)	46	
	17 Amazon CloudFront · Amazon ElastiCache (2)	47	
	18 コンテナの紹介 (1)	48	
	19 コンテナの紹介 (2)	49	
	20 コンテナの紹介 (3)	50	
	21 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(1)	51	
	22 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(2)	52	
	23 AWS Lambda を使用して開発する(1)	53	
	24 AWS Lambda を使用して開発する(2)	54	
	25 AWS Lambda を使用して開発する(3)	55	
	26 AWS Lambda を使用して開発する(4)	56	
	27 AWS Lambda を使用して開発する(5)	57	
	28 AWS Lambda を使用して開発する(6)	58	
	29 Amazon API Gateway を使用して開発する (1)	59	
	30 Amazon API Gateway を使用して開発する (2)	60	
成績評価方法	 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
(試験実施方法)	AND THE RESERVE OF TH		
備考			
	•		

タイトル			
	モバイルアプリケーション開発		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT1年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	選必2		
授業時間	120単位時間		
授業コマ数	60 = 7		
授業概要	Flutterを利用してハイブリッドモバイル	アプリ開発をおこたう	
授業の進め方	テキストによる講義と実習	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
- 10条の進め万 		 したハイブリッドモバイルアプリを開発する	
	基礎から学ぶFlutter		
	を使かり十あriuttei		
実務家教員の紹介			
	1 Flutterの特徴と開発環境構築	31 効果測定	
	2 Flutterプロジェックと作成方法	32 Material Components (1)	
	3 画面遷移	33 Material Components (2)	
	4 画面遷移実習	34 Material Components実習(1)	
	 	· ·	
	5 Dart基本文法(1)	35 Material Components実習(1)	
	6 Dart基本文法実習(1)	36 Material Theming	
	7 Dart基本文法(2)	37 Material Theming実習	
	8 Dart基本文法実習(2)	38 Cupertino	
	9 Dart基本文法実習 (3)	39 Cupertino実習	
	10 Dartの特徴(1)	40 便利なパッケージ	
	11 Dartの特徴(2)	41 プラットフォームアクセスとPluginパッケーシ	
	12 Dartの特徴の実習	42 パッケージ実習	
	13 その他の重要な機能	43 ライフサイクル	
	14 基本的なウィジェット	44 ライフサイクル実習	
授業計画	15 基本的なウィジェットの実習	45 keyとBuiltContext	
[大川四	Single-child layout widgets (1)	46 keyとBuiltContext実習	
	17 Single-child layout widgets (2)	47 サンプルアプリの概要、setState () メソッドだけを使ったサンス	
	18 Single-child layout widgets実習(1)	48 setSate()メソッドだけを使ったサンプル実習	
	19 Single-child layout widgets実習(2)	49 InheritedWidgetウィジェットを使ったサンプ	
	20 Multi-child layout widgets (1)	50 StreamBuilderウィジェットを使ったサンプル	
	21 Multi-child layout widgets (2)	51 BLoCパターンのサンプル	
	22 Multi-child layout widgets実習(1)	52 BLoCパターン+InheritedWidgetウィジェットのサンフ	
	23 Multi-child layout widgets実習(2)	53 BLoCパターン+providerプラグインのサンプ	
	24 Painting and effects	54 scoped_modelプラグインのサンプル	
	25 Painting and effects実習	55 標準機能だけのScopedModelのサンプル	
	26 Scrolling	56 providerプラグ人によるScopedModelのサンプ	
	27 Scrolling実習	57 Reduxパターンのサンプル	
	28 Input, Interaction model widgets, Asyno	 	
	29 Input, Interaction model widgets, Async,		
	30 アニメーション系ウィジェット、コントロー		
成績評価方法	00 / · · / · · · · · · · · · · · · · · ·	MARIAL	
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

タイトル		内容
	システム開発実習 I	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT1年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	選必2	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発における企画立案、ユース	スケース図及びロバストネス図の作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による実習	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図と	ロバストネス図を完成させる
教科書	なし	
実務家教員の紹介	アプリケーション開発者として各種プロ	ログラミング言語での開発経験が豊富である。エンジニアと
人切が大兵の相力	しての経験を活かした実習指導をおこな	s ð 。
	2 卒業制作とは	31 ユースケースモデルレビュー
	2 企画立案の留意点	32 ユースケースモデルレビュー
	3 業界研究	33 ユースケースモデルレビュー
	4 業界研究	34 ロバストネス分析の理論
	5 業界研究	35 ロバストネス分析の実践
	6 業界研究	36 ロバストネス分析
	7 企画立案	37 ロバストネス分析
	8 企画立案	38 ロバストネス分析
	9 企画立案	39 ロバストネス分析
	10 企画立案	40 ロバストネス分析
	11 企画立案	41 ロバストネス分析
	12 企画立案	42 ロバストネス分析
	13 企画立案	43 ロバストネス図レビュー
	14 企画立案	44 ロバストネス図レビュー
授業計画	15 企画立案	45 効果測定 46
	16企画書レビュー17企画書レビュー	47
	18 企画書レビュー	48
	19 ドメインモデリングの理論	49
	20 ドメインモデリングの実践	50
	21 ドメインモデリング分析	51
	22 ユースケースモデリングの理論	52
	23 ユースケースモデリングの実践	53
	24 ユースケースモデリング分析	54
	25 ユースケースモデリング分析	55
	26 ユースケースモデリング分析	56
	27 ユースケースモデリング分析	57
	28 ユースケースモデリング分析	58
	29 ユースケースモデリング分析	59
	30 ユースケースモデリング分析	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		
加 与		

タイトル		内容		
	システム開発実習 II	1.144		
実務家教員授業	0			
学部・学科	情報IT1年制学科			
履修年次	1年次			
開講学期	後期			
科目区分	必修			
授業方法	選必2			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	システム開発におけるシーケンス図とクラス図及びテーブル設計書や画面レイアウトについて学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による実習			
達成目標	シーケンス図とクラス図を作成し、テーフ	シーケンス図とクラス図を作成し、テーブル設計書や画面レイアウトを完成させる		
教科書	なし			
アプリケーション開発者として各種プログラミング言語での開発経験が豊富であ 実務家教員の紹介		[゛] ラミング言語での開発経験が豊富である。エンジニアと		
	しての経験を活かした実習指導をおこなう			
	1 シーケンス図作成の理論	31 データベース設計の理論		
	2 シーケンス図作成の実践	32 データベース設計の実践		
	3 シーケンス図作成	33 テーブル設計書の作成		
	4 シーケンス図作成	34 テーブル設計書の作成		
	5 シーケンス図作成	35 テーブル設計書の作成		
	6 シーケンス図作成 7 ト インス図作成	36 テーブル設計書の作成 27 ボデエン・イスナル デルボーの Windows		
	7 シーケンス図作成 0	37 画面レイアウト設計の理論 20 両面		
	8 シーケンス図作成 9 シーケンス図作成	38 画面レイアウト設計の実践 20 両面		
	9 シーケンス図作成 10 シーケンス図作成	39 画面レイアウトの作成 40 画面レイアウトの作成		
	10 シーケンス図作成 11 シーケンス図作成	41 画面レイアウトの作成		
	11 シーケンス図作成 12 シーケンス図作成	42 画面レイアウトの作成		
	13 シーケンス図レビュー	43 画面レイアウトの作成		
	14 シーケンス図レビュー	44 画面レイアウトの作成		
	15 シーケンス図レビュー	45 効果測定		
授業計画	16 クラス図作成の理論	46		
	17 クラス図作成の実践	47		
	18 クラス図作成	48		
	19 クラス図作成	49		
	20 クラス図作成	50		
	21 クラス図作成	51		
	22 クラス図作成	52		
	23 クラス図作成	53		
	24 クラス図作成	54		
	25 クラス図作成	55		
	26 クラス図作成	56		
	27 クラス図作成	57		
	28 クラス図レビュー	58		
	29 クラス図レビュー	59		
D. Adamson	30 クラス図レビュー	60		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				
	1			

タイトル		内容	
	システム開発実習Ⅲ		
実務家教員授業	0		
学部・学科	情報IT1年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	選必2		
授業時間	150単位時間		
授業コマ数	75コマ		
授業概要	 システム開発におけるテスト仕様書の作成及び実装について学ぶ		
	有識者の指導による実習		
達成目標	テスト仕様書の完成及びシステムのメイン機能を完成させる		
教科書	なし		
	アプリケーション開発者として各種プログラ	ミング言語での開発経験が豊富である。エンジニアと	
実務家教員の紹介	しての経験を活かした実習指導をおこなう。		
	1 テストの理論	41 テストの実施	
	2 テスト仕様書の作成	42 テストの実施	
	3 テスト仕様書の作成 4 テスト仕様書の作成	43 テストの実施 44 テストの実施	
	5 テスト仕様書の作成	45 テストの実施	
	6 テスト仕様書の作成	46 プログラミング (改修)	
	7 プログラミング(開発)	47 プログラミング(改修)	
	8 プログラミング(開発)	48 プログラミング (改修)	
	9 プログラミング(開発) 10 プログラミング(開発)	49 プログラミング(改修) 50 プログラミング(改修)	
	11 プログラミング(開発)	51 プログラミング (改修)	
	12 プログラミング(開発)	52 プログラミング (改修)	
	13 プログラミング(開発)	53 プログラミング (改修)	
	14 プログラミング(開発)	54 プログラミング(改修)	
	15 プログラミング(開発)	55 プログラミング(改修)	
	16 プログラミング(開発) 17 プログラミング(開発)	56 プログラミング(改修) 57 プログラミング(改修)	
	18 プログラミング(開発)	58 プログラミング (改修)	
	19 プログラミング(開発)	59 プログラミング (改修)	
授業計画	20 プログラミング(開発)	60 プログラミング(改修)	
八 木田	21 プログラミング(開発)	61 テストの実施	
	22 プログラミング(開発) 23 プログラミング(開発)	62 テストの実施 63 テストの実施	
	24 プログラミング(開発)	64 テストの実施	
	25 プログラミング(開発)	65 テストの実施	
	26 プログラミング(開発)	66 テストの実施	
	27 プログラミング(開発)	67 テストの実施	
	28 プログラミング(開発) 29 プログラミング(開発)	68 テストの実施 69 テストの実施	
	30 プログラミング(開発)	70 テストの実施	
	31 テストの実施	71 テストの実施	
	32 テストの実施	72 テストの実施	
	33 テストの実施	73 テストの実施	
	34 テストの実施 35 テストの実施	74テストの実施75効果測定	
	36 テストの実施	TO MARKANE	
	37 テストの実施		
	38 テストの実施		
	39 テストの実施 40 テストの実施		
		II	
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			
佣与			